

フーガはユーガ

著者名：伊坂幸太郎
出版者：実業之日本社

双子／誕生日／瞬間移動 1年ぶりの新作は、ちょっと不思議で、なんだか切ない。

その先の道に消える

著者名：中村文則
出版者：朝日新聞出版

リクエスト
ありがとうございます
ございます

僕は今、正常だろうか？僕が求めているものは、何だろうか？アパートの一室で発見されたある“緊縛師”の死体。重要な参考人として名前があがる桐田麻衣子は、刑事・富樫が惹かれていた女性だった。疑惑を逸らすため、麻衣子の指紋を偽装する富樫。全てを見破ろうとする同僚の葉山。だが事態は、思わぬ方向へと突き落とされていく。犯人は誰か。事件の背後にあるものとは、一体何なのか。やがて、ある“存在告白”が綴られた驚愕の手記が見つかり一。

草々不

著者名：朝井まかて
出版者：講談社

身分に縛られ、役目に忠実であらねばならなかった武士の暮らしにも、喜怒哀楽に満ちた人の情は流れている。練達の時代小説短編集。

天子蒙塵 第4巻

著者名：浅田次郎
出版者：講談社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

満洲でラストエンペラー・溥儀が皇帝に復位しようとしている。そんななか、新京憲兵隊将校が女をさらって脱走する事件が発生。欧州から帰還した張学良は、上海に襲い来る刺客たちを返り討ちにしていった。一方、日本では東亜連盟を構想する石原莞爾が関東軍内で存在感を増しつつあり、日中戦争突入を前に、日本と中国の思惑が複雑に絡み合う。満洲に生きる道を見いだそうとする正太と修の運命は。長い漂泊の末、二人の天子は再び歴史の表舞台へと飛び出してゆく。

はつ恋

著者名：村山由佳
出版者：ポプラ社

海の近くの日本家屋に愛猫と暮らす、小説家のハナ。二度の離婚を経て、人生の後半をひとりで生きようとしていた。喪失も、手放すことも知ったから辿り着いた、古くて新しい恋人一。小説家が25年をかけて到達した、恋愛文学の至芸。

こちら横浜市港湾局みなと振興課です

著者名：真保裕一
出版者：文藝春秋

リクエスト
ありがとうございます
ございます

山下公園前に浮かぶ氷川丸・象の鼻パーク・コスモワールドの観覧車・戦前にあった船員下宿・外国人居留地・横浜開港祭。ヨコハマに隠された謎を解き明かせ！

探偵は教室にいない

著者名：川澄浩平
出版者：東京創元社

わたし、海砂真史には、ちょっと変わった幼馴染みがいる。幼稚園の頃から妙に大人びていて頭の切れる子供だった彼とは、別々の小学校に入って以来、長いこと会っていなかった。変わった子だと思っていたけど、中学生になってからは、どういう理由からか学校にもあまり行っていないらしい。しかし、ある日わたしの許に届いた差出人不明のラブレターをめぐって、わたしと彼一鳥飼歩は、九年ぶりに再会を果たす。日々のなかで出会うささやかな謎を通して、少年少女が新たな扉を開く瞬間を切り取った四つの物語。青春ミステリの新たな書き手の登場に、選考委員が満場一致で推した第28回鮎川哲也賞受賞作。

龍華記

著者名：澤田瞳子
出版者：KADOKAWA

時は、平家が繁栄を極める平安末期。高貴な出自でありながら、悪僧（僧兵）として南都興福寺に身を置く範長は、都からやって来るといって国検非違使別当らに危惧をいだいていた。検非違使が来るといことは、興福寺がある南都をも、平家が支配するという目論みだからだ。検非違使の南都入りを阻止するため、仲間の僧兵たちとともに、般若坂へ向かう範長。だが、検非違使らとの小競り合いが思わぬ乱戦となってしまった。激しい戦いの最中、検非違使別当を殺めた範長は、己の犯した罪の大きさをまだ知らなかった一平家が南都を火の海にし、復讐の連鎖を生もうとしていることを。

ふたりぐらし

著者名：桜木紫乃
出版者：新潮社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

元映写技師の夫、信好。母親との確執を解消できないままの妻、紗弓。一緒にくらすと決めたあの日から、少しずつ幸せに近づいていく。そう信じながら、ふたりは夫婦になった。ささやかな喜びも、小さな嘘も、嫉妬も、沈黙も、疑心も、愛も、死も。ふたりにはすべて、必要なことだった。イッキ読み、厳禁！1日1編で10日間。ふたりが、夫婦が、「幸福論」へと辿りつく姿を、じっくりご堪能ください。

母の教え 10年後の『悩む力』

著者名：姜尚中
出版者：集英社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

これまでの生活をリセットして東京近郊の高原へと移住した著者は、それをきっかけに、今までとは違った眼差しで世界や同時代を眺めるようになった。慣れない土いじりや野菜づくりに精を出していると、悲喜こもごもの思い出が、やさしい風や、やわらかな雨のように心を撫でていく。今は亡き、母、父、息子、叔父、先生、友だち。今なら言える。すべての愛すべき人たちの思い出こそが私の故郷であり、私の先生だったのだと。「田舎暮らしエッセイ」という器に載せて、これまでになく素直な気持ちで来し方行く末を存分に綴った、姜尚中流の“林住記”。

行ったり来たり寝ころんだり

著者名：あおきひろえ
出版者：新日本出版社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

子育て、仕事、人間関係…日常を綴った爆笑イラストエッセイ。

自衛隊防災BOOK

著者名：O
出版者：マガジンハウス

リクエスト
ありがとうございます
ございます

あなたやあなたの大切な人を守る力になる。

みずとはなんじゃ？

著者名：かこさとし
出版者：小峰書店

暮らしの中で出会 う水を通して、水の不思議 不思議 な性質 を知り、自然環境 自然環境 に目を向けるきっかけとなるような、科学 する心を育む絵本。 絵本。 かこさとしさんが手がけた最後の絵本。

白いジオラマ

著者名：堂場瞬一
出版者：中央公論新社

元刑事で、現在は神奈川県小田原市鴨宮で「防犯アドバイザー」を務める麻生和馬は、元引きこもりの孫・新城将に言った。「二万円やるから、俺のバイトを引き受ける。張り込みだ」。無茶振りされた孫は、ある老女の“捜査”ならぬ“調査”を開始する。やがて、箱庭のような街の“断層”が浮き彫りになる。姿を消した独居老人の行方は、そして、暗い顔で子ども食堂に通う少女に笑顔が戻る日はくるのか？

作家との遭遇 全作家論

著者名：沢木 耕太郎
出版者：新潮社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

書物の森の中で、あるいは酒場の喧騒の中で、心奪われる出会いをしてきた23名の作家たち。「対象」と徹底して向き合うことで浮かび上がる作家たちのもうひとつの「素顔」は、時にやさしく、時に哀しく、時に烈しい。ファン必読、22歳の時の卒論「アルベール・カミュの世界」を初収録した全作家論集。

まんがアフリカ少年が日本で育った結果

著者名：星野ルネ
出版者：毎日新聞出版

リクエスト
ありがとうございます
ございます

Twitterの人気連載ついに書籍化！カメルーン生まれ関西育ち！笑い涙のコミックエッセイ。日本人らしさって何ですか？ジャングルからコンクリートジャングルへ！アフリカ少年の涙と愛にまみれたドタバタ成長日記！

世界でバカにされる日本人 今すぐ知っておきたい本当のこと

著者名：谷本真由美
出版者：ワニブックス

日本人よ、目を覚ませ。テレビ・雑誌にあふれる“日本スゴイ”は大間違い！平和ボケして「恥ずかしい勘違い」をしている日本人に新しい警鐘を鳴らし、混迷の時代を世界的視野で生き抜くための視点・生き方を提示する一冊。

それしかないわけないでしょう

著者名：ヨシタケシンスケ
出版者：白泉社

たいへんなみらいしか、ないわけないでしょう！？考え方ひとつで楽しい未来が見えてくる！MOE絵本屋さん大賞4冠作家、待望の新作絵本。